

2007

11月号

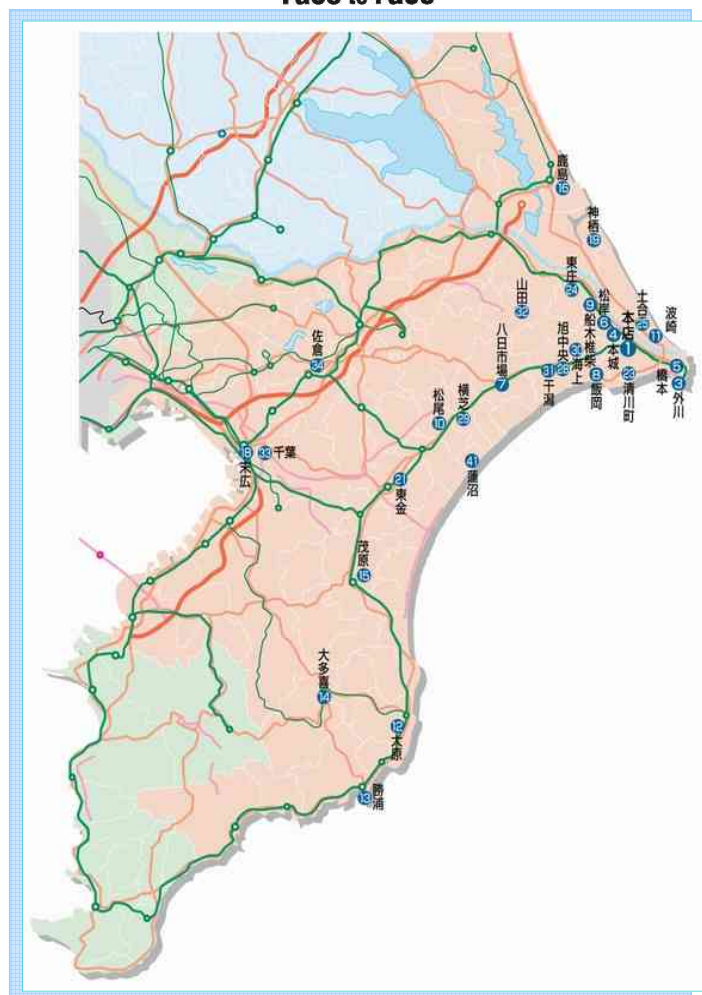
ちょうしんきん

景況レポート

Economic Report of Sales Territory



Face to Face



1. 概況

全体の景況感(全29店舗)

	好転	不変	悪化
前月と比較して	2	27	0
今後3か月程度の見通し	1	27	1

【漁業】

銚子港の総水揚げ数量は21,921トン、前年同月比+4,483トンとなった。また、総水揚げ金額は3,412百万円で、前年同月比+1,046百万円となった。サンマの水揚げは前月から引続き豊漁であり、前年同月比にて数量・金額ともに大幅な増加となった。また、前月比においても総水揚げ数量は+13,730トン、総水揚げ金額は+1,794百万円と水揚げ数量・金額ともに大幅に増加した。

【農業】

銚子地区では、キャベツ・ダイコンの出荷が開始された。価格相場はキャベツ・ダイコンともに1箱(10kg)700円~1,000円で取引されており、例年と比較して1箱(10kg)で200円~500円程度の高値となっている。

残留農薬問題による中国産野菜の輸入量減少で、野菜を始め千葉県の特産品である落花生も価格が高騰している。

【商業】

銚子市の中心市街地にある各商店街では、百貨店の閉店から2年経過し、ますます深刻化する集客力の低下と、前年同月比売上高の減少が続いている状況を打開・改善するべく、様々な取り組みをしており、改善活動の一環として「中心市街地の活性化と今後のまちづくり」を主題とした市政座談会を10月29日に開催した。




【建設業】

公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、平成19年9月分にて千葉県で28,498百万円(前年同月比 10.0%)、茨城県は32,936百万円(前年同月比 36.5%)となった。また、9月の住宅着工戸数は、前月(8月)対比にて千葉県は増加に転じたが、茨城県については3ヶ月連続の減少となった。前年同月比においては、千葉県・茨城県ともに減少が続いている。

【観光業】

銚子地区では、大手旅行会社が犬吠埼灯台・銚子電鉄への観光を目的とした、銚子半島日帰りツアーを連日行っており、首都圏からの観光客が安定的に訪れ賑わいを見せている。

<業種別天気図>

全 体	漁 業	水産加工業	農 業	商 業
				
建 設 業	観 光 業	不 動 産 業	養 豚 業	自 動 車
				

(前月と比較した当月の各業種の景況感を天気図で表示してみました。)



2. 主要業種別動向

漁業・水産加工業

銚子港の総水揚数量は21,921トン、前年同月比+4,483トンとなった。また、総水揚金額は3,412百万円で、前年同月比+1,046百万円となった。サンマの水揚は前月から引き続き豊漁であり、前年同月比にて数量・金額ともに大幅な増加となった。また、前月比においても総水揚数量は+13,730トン、総水揚金額は+1,794百万円と水揚数量・金額ともに大幅に増加した。

波崎港の総水揚数量は7,058トンで、前年同月比 8,781トンとなった。総水揚金額は893百万円で、前年同月比 177百万円となった。サバの水揚が好調であった前年と比較して総水揚数量・総水揚金額共に大幅な減少となった。また、前月比では数量で1,660トン減少したが、サバの価格が高値で安定した為、金額は195百万円の増加となった。

勝浦港の総水揚数量は303トンで、前年同月比+130トンとなった。総水揚金額は343百万円と前年同月比+169百万円となった。昨年と比較してマグロ船が多く入港しており、マグロの水揚高は前年同月比で数量は+133トン、金額で+170百万円と数量・金額ともに大幅に増加した。

大原港のイセエビ漁は、豊漁であった昨年と比較すると減少しているが、例年並の水揚となっている。

水産加工業は、地方市場において需要の鈍い状況が続いており、全体での売上高は減少傾向にある為、良好な販路開拓が課題となっている。

銚子魚市場水揚高

銚子市漁業協同組合調べ

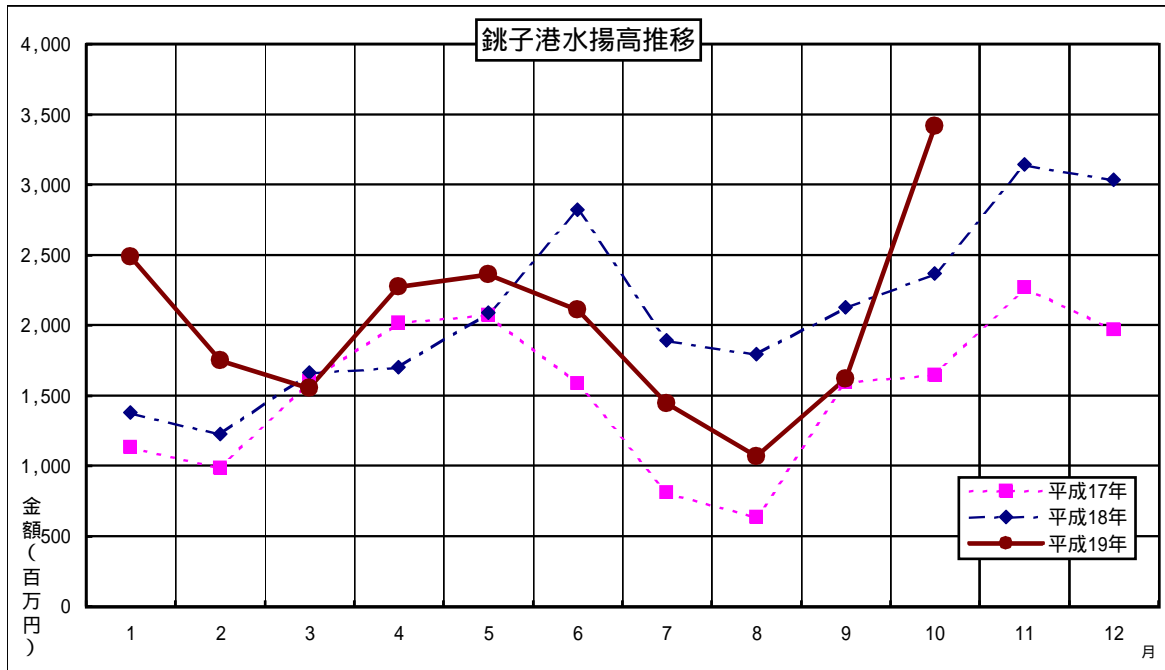
種類	区分	数量(トン)			金額(千円)		
		H19年10月	H18年10月	前年同月比	H19年10月	H18年10月	前年同月比
鰯		441	404	37	51,281	76,195	24,914
鯖		7,445	10,578	3,133	1,012,256	928,657	83,599
鰯		936	317	619	158,786	17,818	140,968
鰹・鮪		870	607	263	908,158	781,503	126,655
(内鰹一本釣)		0	0	0	0	0	0
秋刀魚		11,630	5,151	6,479	1,004,553	292,902	711,651
底曳		388	222	166	93,901	99,690	5,789
その他		211	159	52	183,660	169,253	14,407
合計		21,921	17,438	4,483	3,412,595	2,366,018	1,046,577

前月比	数量	267.62%
	金額	210.86%
前年同月比	数量	125.71%
	金額	144.23%

水揚日数



	H19年10月	H19年9月	H18年10月
鰯	2日	1日	8日
鯖	13日	9日	18日
鰯	17日	11日	6日
鰹・鮪	24日	21日	22日
(内鰹一本釣)	0日	0日	0日
秋刀魚	26日	14日	12日
底曳	24日	20日	18日
その他	26日	22日	24日



農 業

銚子地区では、キャベツ・ダイコンの出荷が開始された。価格相場はキャベツ・ダイコンともに1箱(10kg)700円～1,000円で取引されており、例年と比較して1箱(10kg)200円～500円程度の高値となっている。

飯岡地区ではキャベツ・ダイコンの他、パセリ・春菊・ミニトマトが出荷されており、価格相場は、パセリ(5kg)7,000円～8,000円、春菊(3kg)1,400円前後、ミニトマト(5kg)2,000円～3,000円と高値で取引されている。

波崎地区のピーマンの出荷量は、前年同月と比較して3割程度減少した。また、1袋あたりの価格相場は上旬～中旬で60円～65円、下旬は75円となった。

海上地区のマッシュルームは、1パック(100g)100円前後と例年と同水準の価格相場で見られている。

茂原市では、新しい「青果市場」が完成し10月22日にオープンした。以前の市場と比較して約2倍の売場面積を持っており、取扱数量についても旧市場の30%増加を計画していることから、地域農業の発展に寄与する事が期待される。

香取地区では、農業生産法人が新事業としてイチゴ狩り等の観光用の使用も視野に入れたイチゴ栽培ハウスの建設を計画している。

残留農薬問題による中国産野菜の輸入量減少で、野菜を始め千葉県の特産品である落花生についても価格が高騰している。

商 業

銚子市の中心市街地にある各商店街では、百貨店の閉店から2年経過しても止まる事なくますます深刻化する集客力の低下と、前年同月比売上高の減少が続いている状況を打開・改善するべく、様々な取組みをしており、改善活動の一環として「中心市街地の活性化と今後のまちづくり」を主題とした市政座談会を10月29日に開催した。今後も同様の座談会等、行政との対話を継続する予定であり進展が期待される。なお、出店が予定されている大型ショッピングセンターの動向が市政座談会の席上においても、注目されておりCSの店舗規模で「中心市街地の活性化と今後のまちづくり」の方向性に大きな影響が出る事が懸念される。

ガソリンの販売価格競争が日本一激しく、平均販売価格も日本一低い茨城県にある鹿嶋市の燃料販売会社(ガソリンスタンド)では、原油価格の高騰や販売価格競争の影響により、独自経営を断念し店舗を閉鎖、近隣の国道沿いに出店するメーカー主導の新設店舗の店長として勤務する事を選択した経営者も現れている。

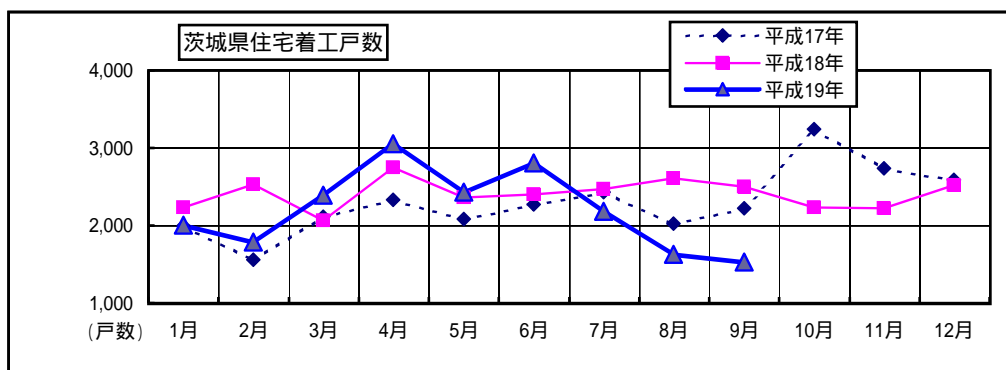
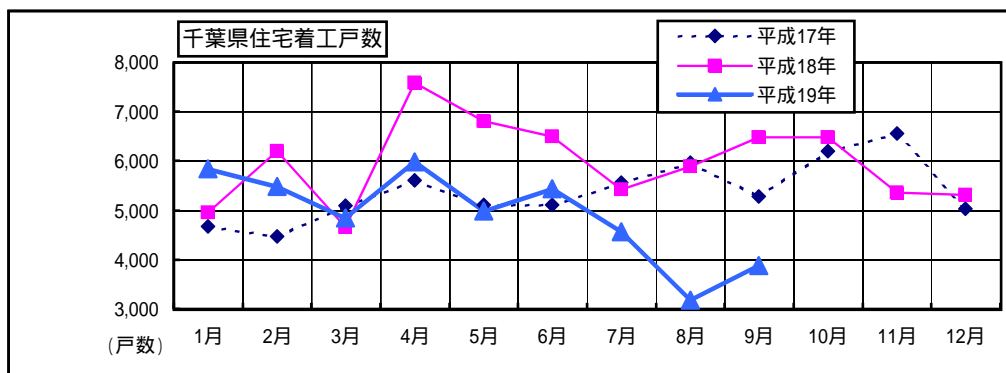
旭市では、国道沿いに総売場面積約1,000坪の大型家電量販店2店の出店が予定されており、当該地域においては更なる活性化が期待されている。その反面、駅前通り商店街・銀座通り商店街の衰退が懸念される。

情報アドバイス
銚子商工会議所

建設業

千葉県・茨城県の住宅着工戸数は以下のとおり。

	前月戸数	前々月戸数	増減
千葉県	3,878	3,168	710
茨城県	1,524	1,625	-101



公共機関からの受注工事(1件500万円以上の工事)は、平成19年9月分にて千葉県で28,498百万円(前年同月比 10.0%)、茨城県は32,936百万円(前年同月比 36.5%)となった。なお、前月対比では、千葉県で+9,741百万円、茨城県は+20,275百万円と共に増加した。

また、9月の住宅着工戸数は、前月(8月)対比にて千葉県は増加に転じたが、茨城県については3ヶ月連続の減少となった。前年同月比においては、千葉県・茨城県ともに減少が続いている。

建築基準法の改正により、工事発注数の減少や工事着工に遅れが生じている状況が続いており、今後の影響が懸念される。

観光業

銚子地区では、大手旅行会社が犬吠埼灯台・銚子電鉄への観光を目的とした、銚子半島日帰りツアーを連日行っており、首都圏からの観光客が安定的に訪れ賑わいを見せている。

飯岡地区の釣り舟はフグ・ヒラメが釣れており、秋の行楽シーズンと重なり客足は順調であるが、天候による影響が大きい為、晴天の続く事を期待している。

いすみ市大原地区の釣り舟は、9月に解禁となったショウサイフグを目当ての釣り客が多く訪れている。釣果も好調であり、漁獲量の最盛期となる11月まで釣り舟利用客の増加が十分に期待できる。

大多喜地区では、秋の紅葉シーズンを迎え観光客の増加を期待していたが、メインとなる養老溪谷の紅葉が遅れており、マスコミ報道でも「予想される見ごろは12月」と伝えているので、観光客の出足が鈍っている。

不動産業

神栖市では、今年7月に施行された市街化調整区域の「区域指定」によって、建築可能な区域が広がり不動産売買の活性化による新規居住者の増加が期待されている。現在のところは、指定区域内の土地保有者に対して各建設業者による不動産賃貸経営(アパート建築)の提案が盛んに行われている状況である。

養豚業・畜産業

当月の豚枝肉相場は、平均470円/kg(前月比 53円、前年同月比 +67円)で推移した。

畜産業は、配合飼料の価格高騰が続いている事から、利益率は悪化傾向にあり経営を圧迫している。採卵鶏経営においても同様であり、物価の優等生とされている鶏卵価格の値上げも実施せざる得ない状況である。

自動車ディラ

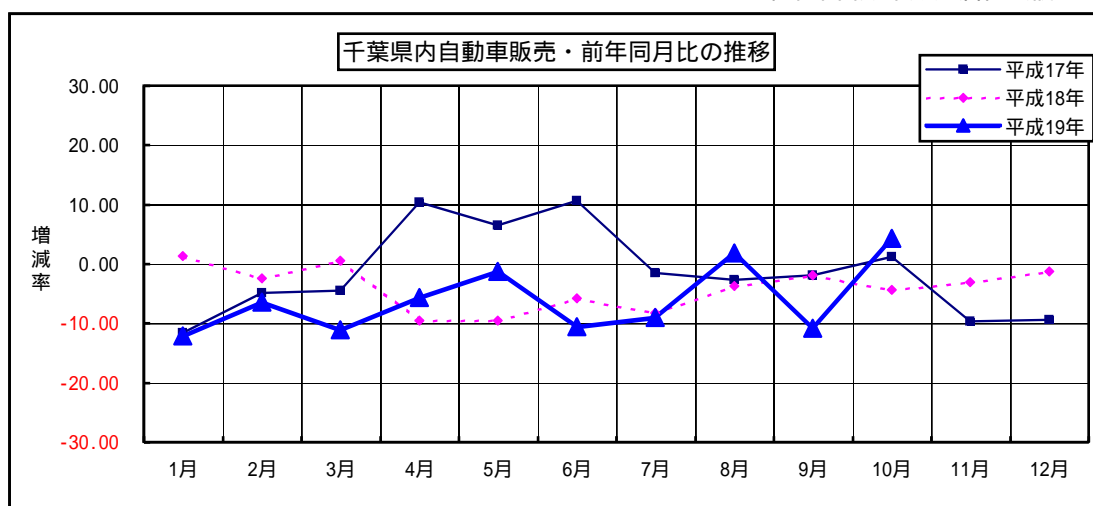
10月の千葉県内自動車販売状況は、13,223台で前年同月比4.3%の微増となった。9月に前年同月実績を割り込んだが、10月は再び前年同月台数を上回る結果となった。なお、10月の全国新車登録台数は28ヶ月ぶりに前年同月台数を上回った。市場別の販売状況については、乗用車市場の車型別でステーションワゴン・純輸入乗用車は前年同月比で減少したが、3BOX・2BOXの増加により、乗用車市場全体で前年同月比7.8%の増加となった。また、RV市場も前年同月比2.5%の増加となるが、貨物車市場においては前年同月比11.6%の大幅減となった。

メーカー別の占拠率は、トヨタが占拠率52.3%と今年2度目の50%越えを果たした。次いでホンダが13.8%、日産は13.0%の占拠率となった。

千葉県内自動車販売状況(軽自動車を除く)

		当月	前月	前月比	前年同月	前年比
乗用	普通	5,557	6,520	85.23%	4,324	128.52%
	小型	5,899	6,959	84.77%	6,301	93.62%
	小計	11,456	13,479	84.99%	10,625	107.82%
貨物	普通	531	863	61.53%	584	90.92%
	小型	949	1,055	89.95%	1,091	86.98%
	小計	1,480	1,918	77.16%	1,675	88.36%
特殊等	特殊	241	370	65.14%	325	74.15%
	バス	46	62	74.19%	53	86.79%
	小計	287	432	66.44%	378	75.93%
総合計		13,223	15,829	83.54%	12,678	104.30%

千葉県自動車販売店協会調べ



情報アドバイス
千葉トヨタ自動車株

3. その他の動向

求人

有効求人倍率

(単位：倍、増減はポイント)

	前月	前々月	増減	前年同月	増減
銚子公共職業安定所管内	1.06	1.03	0.03	0.97	0.09
茂原公共職業安定所管内	0.84	0.80	0.04	0.73	0.11
いすみ公共職業安定所管内	0.99	1.03	0.04	0.85	0.14
成田公共職業安定所管内	1.17	1.14	0.03	0.94	0.23
佐原公共職業安定所管内	1.43	1.32	0.11	1.29	0.14
千葉県	0.96	0.98	0.02	0.88	0.08
常陸鹿嶋公共職業安定所管内	0.80	0.76	0.04	0.88	0.08
茨城県	0.98	0.99	0.01	0.95	0.03

有効求人倍率 = 有効求人数 ÷ 有効求職者数

ハローワーク銚子/茂原/いすみ/成田/佐原/常陸鹿嶋調べ

電力

電力使用量

(単位：千kwh)

	前月	前年同月	増減
東京電力銚子営業所管内総電力使用量	144,629	144,893	264
〃 (うち 動力使用量)	105,539	105,422	117

東京電力(株)成田支社調べ

倒産

当月における負債総額1,000万円以上の千葉県内企業倒産件数は38件となり、前月比にて22件増加、前年同月比においても4件の増加と5ヶ月ぶりに前年同月を上回った。負債総額は612億円で、前月比593億円の増加となり、前年同月比においても510億円の増加と大型倒産のなかった前月から一転、負債総額100億円以上の超大型倒産のほか10億円以上の大型倒産が2件発生し、負債総額が大幅に押し上げられた。

10月の倒産会社の従業員数は448名となり、3ヶ月ぶりに400名台に乗った。

業種別では、倒産件数38件のうち「建設業」が20件と半数以上を占め、次いで「サービス業」が6件となった。負債額は超大型倒産が発生した「サービス業・他」が538億円と大部分を占め、次いで「建設業」が58億円、「小売業」が8億円となった。

原因別では倒産件数38件のうち「業績不振」によるものが25件と多く、次いで「他社倒産の余波」を原因とするものが4件となった。

負債総額100億円以上の超大型倒産(1件)

成田市 ゴルフ場経営会社・・・・・・ (負債総額 約431億円)

負債総額10億円以上の大型倒産(2件)

美浜区 仮設機材リース販売会社・・・・・・ (負債総額 約97億円)

花見川区 地盤改良工事会社・・・・・・ (負債総額 約10億円)

(東京商工リサーチ・千葉県内企業倒産状況より)

本誌作成にあたってのデータ参照先

銚子市漁業協同組合
銚子商工会議所
株式会社 東京商工リサーチ
国土交通省 統計情報
千葉県自動車販売店協会
千葉トヨタ自動車 株式会社
ハローワーク銚子
ハローワーク茂原
ハローワークいすみ
ハローワーク成田
ハローワーク佐原
ハローワーク常陸鹿嶋
東京電力 株式会社 成田支社
(順不同)
その他掲載データは当金庫独自の調査によるものです。

発行；銚子信用金庫
編集；営業推進部
住所；〒288-8686 銚子市双葉町5-5
電話；0479-25-2121
FAX；0479-24-4591
E-mail；eisui@choshi-shinkin.co.jp
URL；http://www.choshi-shinkin.co.jp

ちょうしんきん ビジネス知恵袋のご案内

「取引先事業所の成長・発展」を目的に、経営コンサルティング企業の㈱タナベ経営とタイアップし、みなさまのビジネスを支える多彩な情報をインターネットを通じてご提供するサービスです。

【年会費】17,850円（うち消費税850円）

【ご入会】当金庫取引の有無は問いません。入会申込書は、お近くのちょうしんきん窓口またはご担当の営業担当者におたずねください。

経営情報レポート

業種別・機能別・経営テーマ別に分類。
改善事例や経営ノウハウなど総数2,000種類の経営情報をご提供。

法律アドバイスネット

法律に関するQ&A4,000種類。申請書・申告書記載例300件、根拠条文も閲覧可能。

ネット経営相談

企業経営に関するアドバイスネット。FAQを50件掲載。
あらゆる経営のお悩みをご相談ください。専門コンサルタント、法律・税務の専門家がメールでアドバイスいたします。

レポート・ネット

毎月配信するリーダーズ・レポートと地域版コンサル・レポートをご覧いただけます。

その他のコンテンツを含めて、全16の充実したコンテンツが満載！
みなさまのお申込みをお待ちしています。